

事務局の作業状況と策定に向けたスケジュール

- 策定に向けた調査. P 1
- これまでの検討経緯. P 1
- 策定方針（策定のポイント）. P 2
- 検討スケジュール. P 3

1 策定に向けた調査

台東区都市計画マスタープランフォローアップ調査 (平成27年度)

- まちの現況・変化等を把握するため、「台東区都市計画マスタープランフォローアップ調査」を実施

■ 主な調査結果(まちづくりに求められるもの)

- 伝統・文化などの地域個性を活かしたまちづくり
- 防災上危険性が高い地域の解消
- 民を活かした、柔軟性・スピード感のあるまちづくり、経済性・生活の質の向上に資するまちづくりの推進
- 将来的な少子高齢化へ対応する機能・基盤の充実
- 低炭素、生物多様性への対応

■ まちづくりの新たな展開の必要性

- 新たな視点の付加
 - 重点地区の検討
 - まちづくりの推進方策の検討
- 詳細は次頁参照

台東区の将来都市像に関する意識調査 (平成28年度)

- 平成28年度に区民や区内への通勤・通学者の将来都市像に関する意識を把握するため、「台東区の将来都市像に関する意識調査」を実施

■ 台東区の望ましい将来像Top5(区内居住者/有効回答数575/3つ選択可)

- ① 災害に強く、犯罪が少ない安全・安心な都市 (63.1%)
- ② 医療・福祉施設や教育施設、子育て環境が充実した都市 (46.4%)
- ③ 快適な住環境が充実した都市 (26.1%)
- ④ 自動車や歩行者が安全・安心に通行できる道路が整備されている都市 (25.6%)
- ⑤ 歴史・文化・伝統を活かした観光が盛んな都市 (23.1%)

■ 台東区の望ましい将来像Top5(区外居住者/有効回答数381/3つ選択可)

- ① 歴史・文化・伝統を活かした観光が盛んな都市 (39.6%)
- ② 災害に強く、犯罪が少ない安全・安心な都市 (37.8%)
- ③ 快適な住環境が充実した都市 (27.0%)
- ④ 賑わいの拠点や身近な商店街に活気がある都市 (22.8%)
- ④ 文化・芸術が盛んな都市 (22.8%)

2 これまでの検討経緯

台東区都市計画マスタープラン策定委員会 (平成28年度～)

- 学識委員、区民委員、区職員による策定委員会を設置し、都市マスの方向性や地域ごとのまちの将来像について検討

■ 主な意見

- 人に焦点をあてた検討をすべき。
- これからの台東区がどうあるべきかを示すとともに、未来から振り返った時の伝統を今つくりたくないといけない。
- 福祉・健康の視点が必要。
- 呼び寄せる、盛り上げる等、経済的な視点を強化すべき。

学識委員による意見交換会 ⇒ 詳細は参考資料1参照 (平成29年度)

- 平成29年度には学識委員による意見交換会を実施し、専門的な見地から策定委員会での議論を深度化

■ 主な意見

- 人を強調し、人の生活が見える都市マスにしてほしい。
- 通勤・通学者、商業の人からも選ばれるまちを目指すべき。
- 人の営みという概念が入ることが台東区の特徴である。
- 人が住まう・営む舞台が都市であり、人が主役の都市マスにしたい。

台東区議会(産業建設委員会)

- 平成27年二定
 - 都市計画マスタープランのフォローアップ調査について
- 平成28年一定
 - 都市計画マスタープラン策定について
- 平成28年7月例月
 - 都市計画マスタープランの検討に係る体制及びスケジュールについて
- 平成29年一定
 - 都市計画マスタープラン策定のスケジュール変更について

3 策定の方針・ポイント

① 基本構想との連携

- 基本構想の検討状況と連携し、基本構想に掲げる将来像や基本目標を達成するためのまちづくりの基本理念や将来都市構造等を設定する。

台東区基本構想の将来像・基本目標を 都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定

【都市計画マスタープラン】

- 将来イメージ
- 将来都市構造・土地利用の方針
- 分野別・地域別まちづくり方針

等を検討

② 新たな視点の付加

- 調査結果や策定委員会での意見をもとに、都市計画マスタープランの検討にあたって、以下を念頭に検討中

□ ひと中心のまちづくり

- まちを人が活動する舞台として捉え、住む人・働く人・訪れる人がいきいきと活動できる将来像を検討する。

□ 歴史的重層性を尊重したまちづくり

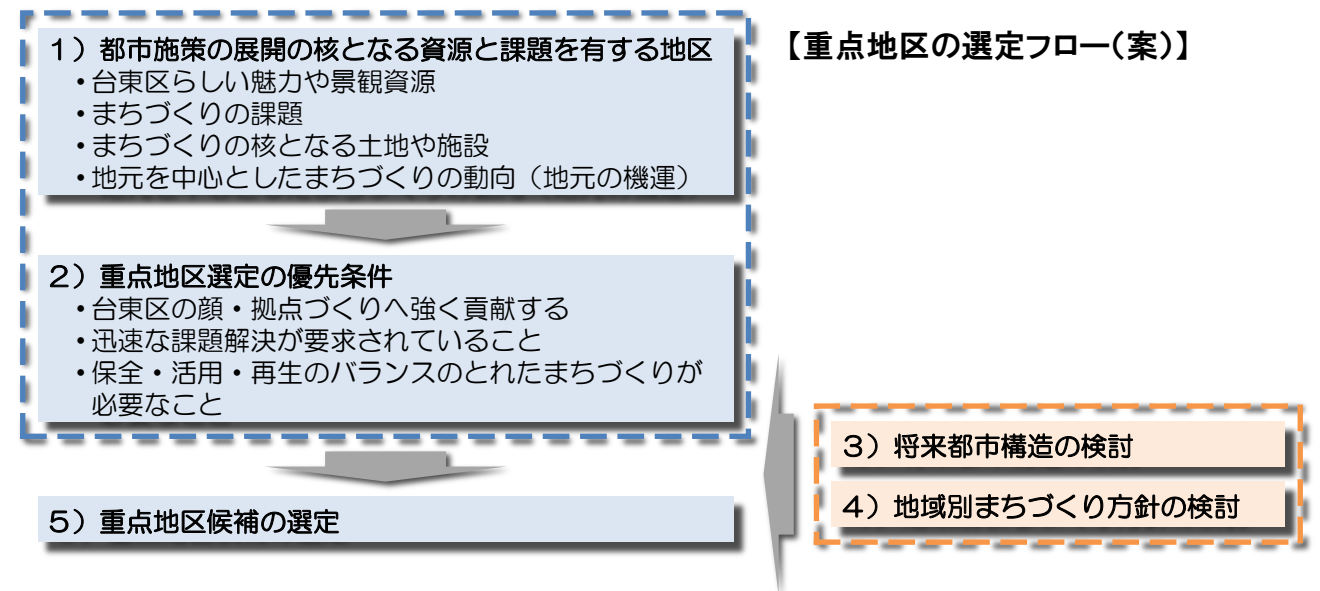
- まちの成り立ちや台東区を特徴づける歴史・文化・産業などを踏まえるとともに、まちのあるべき将来像を描く。

□ 民間活力の誘導によるまちの質の向上

- 民を活かした、柔軟性・スピード感のあるまちづくり、経済性・生活の質の向上に資するまちづくりを推進する。

③ 重点地区の設定

- 都市施策を効果的に実現するためには、区全体のまちづくりを先導するフラグシップ・プロジェクトを進めることが重要である。
- そこで拠点性の向上や地域全域への波及効果が期待できる地区としてまちづくり施策を集中的に投入する、まちづくり重点地区を設定する。



④ まちづくりの推進方策

- 都市計画マスタープランに示すまちの将来像を達成するため、まちづくりの実効性を高める方策を検討中

□ 多様な主体の参画によるまちづくりの推進

- 住民・地権者をはじめ多様な主体のまちづくりへの参加を促し、多様化するニーズに対応したまちづくりを推進する。

□ 地域特性に対応したきめ細かなまちづくりの推進

- 地区ごとのまちづくり方針の検討 ex) 上野地区、谷中地区、等
- 地域でのマネジメントの促進 ex) まちづくり会社 等

□ まちづくりに係る制度の検討

- マスタープランに示した将来像実現に向けた、都市計画手法の積極的な活用、まちづくりに係る条例等の構築・再編の検討

4 検討スケジュール

